

新型コロナウイルス対応ガイドライン

～宿泊施設、飲食店、土産販売店等各店舗向け～

戸狩観光協会

各宿泊施設においては、施設の規模や業態等を勘案し、各施設の実情に合わせた対策を講じることとする。

なお、本ガイドラインは、最新の新型コロナウイルスの要望に係る専門家の知見、宿泊客の要望、事業者側の受入環境を踏まえて、必要な見直しを行っていく。

(1) 基本原則と共通事項

- ・従業員と宿泊客および宿泊客同士の接触をできるだけ避け、対人距離を確保(2mを目安に)する
- ・来客者には体温測定を行う
- ・マスクを着用していないお客様には着用していただくようお願いする
- ・入口および施設内にはいつでも使えるように消毒液の設置と定期的な消毒、換気を行う
- ・宿泊客への定期的な手洗い、消毒とマスクの着用をお願いする
- ・フロント、受付にはアクリル板・透明ビニールカーテンなどで飛沫感染を防止する
- ・他人と共有する物品や手が頻繁に触れる箇所の消毒を徹底する(ルームキー、ドアノブ、自動販売機のボタンや取り出し口、テレビ・空調のリモコン、金庫、照明のスイッチ、浴室のドライヤーなど)

- ・手や口が触れるようなもの(コップ、箸など)は、適切に洗浄、消毒する。又は使い捨てにするなどの対応をする。

- ・ユニフォームや衣服は適宜交換する

(2) 送迎

- ・密集しないように配慮する
- ・送迎車の消毒を実施する
- ・窓を開けるなど換気に気を配る

(3) チェックイン、アウト、受付、会計など

- ・感染防止のためチェックイン・アウト時は密にならないよう整理する(間隔を空けた待ち位置の表示をする)

- ・チェックインにかかる時間を短縮させるために館内案内や注意事項等を記載した紙を予め用意し、お客様にお渡しする。また、感染の疑いがある場合には保健所に相談することを記載しておく

- ・宿帳、受付簿には代表者だけでなくグループ全員の連絡先(氏名、住所、電話番号、職業)を記入してもらう

- ・団体旅行のチェックイン時は参加者が一つの場所に固まらず分散して待機するようお願いする

- ・滞在中は客室の窓を一定期間ごとに開けるなどお客様自身での換気をお願いする。また、急な降雨など天候によってはスタッフが室内に入ることがあることを予めお客様に知らせておく

- ・お客様が来館した際に発熱していた場合は、お客様の状況にもよるが、滞在せずに帰宅していただく選択肢も考えられる

その場合には、近隣の医療機関で検査を受けて陽性だった場合は、長野県の医療機関に入院あるいは宿泊療養施設に入る可能性があることや入院や宿泊療養になった場合、ある程度の期間、不慣れな土地に拘束され、お客様の負担になること事など、滞在することのデメリットを説明した上で、お客様に納得してもらう必要がある(旅館業法上、宿泊者が伝染性の疾病にかかっていると明らかに認められる場合でなければ宿泊を拒否することはできないことに注意)

(4) 風呂場

- ・密にならないよう入場人数の制限をする
- ・定期的な換気(脱衣室含む)
- ・脱衣室、浴室、浴槽内での対人距離の確保をお願いする
- ・会話を控えてもらう
- ・消毒液を設置し、お客様自身も脱衣カゴ等 使用前後の消毒にご協力いただく

(5) 食堂(食事関係)

(事業者側)

- ・盛り付けの際は手袋を使用する
- ・人数によっては食事の時間帯をずらした対応をする
- ・調理場には調理場専用の履物を用意する
- ・席の配置(席の間隔、横並びなど)に留意する
- ・食堂入口に消毒液を設置し、入場時に手指の消毒徹底をお願いする
- ・エコ箸の使用は極力控え、当面は割り箸を使用する

(食事)

- ・お客様には食事開始までマスク着用をお願いする
- ・お酌や盃の回し飲みは控えるようお願いする
- ・鍋料理、大皿料理などは一人鍋、一人盛りに極力変更する
- ・ビュッフェ、バイキング方式は極力実施しない

(6) 清掃

- ・清掃時はマスクと使い捨て手袋を着用する
- ・使用後のリネン類、タオル等は回収後に人が触れないように密閉保管し、洗濯・消毒を行う
- ・ゴミはビニール袋で密閉して処理する
- ・浴室は清掃時に換気し、完全に空気を入れ替える
- ・脱衣室内の設備・備品・ロッカー内部を清拭消毒する
- ・浴槽水等の消毒の徹底
- ・スリッパ等は使用後の清拭消毒を行う
- ・マスク専用の蓋つきゴミ箱を設置する

(7) トイレ

(感染リスクが比較的高いと考えられるため留意が必要)

- ・トイレの蓋を閉めて汚物を流すよう表示する
- ・ペーパータオルを設置するか、個人用タオルを準備する(タオルは共有しない)
- ・ハンドドライヤーは止める
- ・常時換気をオンにしておくなど換気に留意する

- ・徹底した消毒

- ・トイレに消毒用アルコールを置き使用者自身にも消毒して貰うなど、宿・お客両方の対応が必要

(8) 部屋の換気

- ・1カ所窓を開けただけでは不十分なので入り口も開けて風が通るようにするか、扇風機・サーキュレーターなどを使って強制的に空気を出すようにする。

- ・換気も大事だが、室内の温度や湿度にも気を配ることが必要

現状では新型コロナウイルスと温度・湿度の関係性については、明確な科学的根拠がないのが現状だが、以下のようなことが参考として挙げられる。

※1つの目安として、労働安全衛生法の関連で、事務所(オフィス)の温度・湿度については、「温度:17~28℃、相対湿度:40~70%」が望ましいというものがある

※インフルエンザウイルスについては、湿度40%以上にすると活動が抑えられるというデータがある

(9) 布団処理対応

- ・滞在中は同じ布団を使用する

- ・滞在後にカバー、シーツ類は洗濯し布団類は天日干し、消毒、数日置くなどしてから使用又は、押入れに入れる

- ・天気が悪い日が続く場合はアルコール等で噴霧消毒する。

その場合は、消毒したい部分を十分に湿らせた上で、しっかり乾燥させる

(10) 従業員

- ・従業員の毎日の健康チェックと体温測定を実施する
- ・従業員はマスクを着用する
- ・従業員の衛生管理の徹底をする

(11) 宿泊客の感染疑いの際の対応

- ・事前に他の宿泊者と区別して待機する部屋等を決めておく
- ・発熱や呼吸困難、倦怠感など感染が疑われる宿泊客がいる場合は、感染していることを前提に対応する
- ・可能であればトイレを分けて区別する(例:1階は宿泊客、2階は感染の疑いのある宿泊客)
区別ができない場合はこまめに換気、消毒をし、共同のスペースに出る場合はマスクの着用をお願いする
- ・浴室、脱衣室は使用する時間帯を決め、ほかの宿泊客となるべく接触しないようにし、使用後は換気、消毒を徹底する
- ・室内で待機しマスクを着用し外に出ないようにお願いします。(同行者も同様)
- ・食事は待機する部屋にお届けし、他の宿泊客との接触を避けるとともに対応するスタッフを限定する。対応するスタッフはマスクを必ず着用する
- ・発熱等の症状が生じた場合には、まず電話でかかりつけ医等身近な医療機関に相談する。

かかりつけ医などを持たない方や、土日祝日夜間など、相談先に迷った場合は「受診・相談センター」(保健所)へ電話相談する。

電話で案内された医療機関に電話連絡し、医療機関の指示に従って受診する。

北信保健福祉事務所 TEL 0269-67-0249

(休日を含め 24 時間対応)

- ・当日の宿泊者名簿を確認し、保健所への提出に備える
- ・館内の他の宿泊客への情報提供は、保健所の指示に従う

・発熱者のタクシーでの搬送について

新型コロナウイルス感染症拡大防止搬送業務について長電バス株式会社・長野交通株式会社にて受けて頂けることとなりました。

搬送の手順は以下の通りです。

- ① 保健所に宿が連絡 ⇒ 保健所から移送先の指示有
- ② タクシー会社(飯山観光タクシー TEL 63-3232)に依頼

期間:1/16(土)～3/26(金)

時間:9:00～20:00

一回の運行につき、整備費(消毒作業)として **11,000 円(税別)**が**運賃の他**にかかる事をお客様にお知らせ下さい。

- ③ タクシー会社への支払いは宿から行う

宿はお客様から料金をいただく

なお、対象はお客様のみで従業員は対象外です。

季節性インフルエンザ流行期における新たな相談・受診・検査の流れ(イメージ)

令和2年11月10日

感染症対策課

